

長崎大水害から39年、防災パネル展を開催



当時の被害の様子。左から、本河内・東長崎・浜町アーケード(昭和57年撮影)

昭和57年7月23日に発生した長崎大水害の記憶を風化させることなく継承するために、市立図書館や各地域センター、市役所本館入口で大水害当時の写真を展示するパネル展を7月16日～30日に開催しました。

訪れた人は、道路が崩壊し、転落しそうになった車両などの写真を見て、災害の恐ろしさや日ごろの備えの大切さを実感していました。

■問い合わせ 防災危機管理室(☎822-0480)



増水した中島川と破損したためがね橋(昭和57年撮影)

日本郵便(株)と包括的連携に関する協定を締結



幅広い分野で地域に密着したサービスを提供します

8月4日、日本郵便株式会社と長崎市は相互に緊密な連携を図り、協働による活動を推進し、地域の活性化や市民サービスの向上などを図るために協定を締結しました。

日本郵便株式会社のネットワークを生かした地域の見守り活動などを継続するほか、各郵便局での環境分野の取り組みや、女性の活躍推進に関する取り組みなど連携を強化していきます。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

(株)ゼンリンと包括連携に関する協定を締結



ゼンリンと自治体との包括連携協定は全国初

7月19日、株式会社ゼンリンと長崎市はそれぞれの資源などを有効に活用した協働による活動を推進したり、地図情報を活用した地域課題の解決を図ったりすることで地方創生を実現するために協定を締結しました。

この協定に基づき、地図情報を活用した安全・安心な暮らしや交流人口の拡大につながるサービスを検討するなど連携を進めていきます。

■問い合わせ 都市経営室(☎829-1111)

起業家育成プログラム「ココデショ!」開催



グループごとに意見出しをした後、発表を行いました

7月27日、「#長崎を持ち上げよ」を合言葉に、マーケティングなどを学び、今年度中に市内で起業を目指す起業家育成プログラム「ココデショ!」の第1回キックオフが開催されました。

初回は、「起業のために必要なこと」などをテーマにグループワークを実施。熱い思いを持つ参加者の議論は白熱し、自分だけでは気付かない具体的な起業イメージを共有することができました。

■問い合わせ 産業雇用政策課(☎829-1313)

子どもたちがさらに楽しめる子育て支援センターへ



子育て支援センターは市内12カ所に開設しています

みらい長崎ココウォークを運営する株式会社みらい長崎が、今年1月まで同施設内で営業していた室内遊技場「キドキド」で使用していた滑り台など遊具11点を寄贈し、7月16日に寄贈式が行われました。寄贈された遊具は、子育て支援センター(風の子らんど・ピクニック・みなみ・てとて・にこっと)5カ所に設置され、さらに子どもたちが楽しく過ごせる場所へと進化しました。

■問い合わせ 子育て支援課(☎829-1270)

バスを見たらSNSで「#平和のバス」「#長崎クスノキプロジェクト」で発信



詳しくは「長崎クスノキプロジェクト」ホームページをご覧ください

昨年度に、小学生によるまちづくりアイデアコンテストで優秀賞を受賞した「平和のバス」を長崎バスのラッピングバスで実現し運行しています。

「平和の良さを少しでも考えることができれば」という受賞者の思いに感銘し、福山雅治氏が総合プロデューサーを務める「長崎クスノキプロジェクト」でこのバスが実現しました。11月末まで市内を運行していますので、見掛けただけでSNSで発信してください!

■問い合わせ 被爆継承課(☎844-3913)

犯罪被害者等支援の連携協力に関する協定を締結



協定書には、個人情報の適正な管理なども明記しました

7月20日、長崎・大浦・浦上・時津警察署と長崎市は、4月に総合相談窓口の設置や見舞金・助成金の給付を盛り込んだ「市犯罪被害者等支援条例」が施行されたことを受けて、犯罪被害者等支援や支援に関する情報共有などを行いながら、相互に連携し、犯罪被害者等の権利を保護するための協定を締結しました。犯罪被害者等が受けた被害の回復・軽減のために、連携し迅速な支援を行います。

■問い合わせ 自治振興課(☎829-1211)